兵庫県立神戸高等学校 校長 世良田 重人 (SSH 連絡会今年度幹事校) 滋賀県立膳所高等学校 校長 小島 秀樹 京都市立堀川高等学校 校長 谷内 秀一 (SSH 連絡会 探究型学力高大接続研究会 運営担当校) 石川県立金沢泉丘高等学校,福井県立藤島高等学校 滋賀県立膳所高等学校,京都市立堀川高等学校 奈良県立奈良高等学校,大阪府立天王寺高等学校 三重県立津高等学校,兵庫県立神戸高等学校

探究型学力 高大接続シンポジウム 実施要綱

目的 SSH 連絡会における高大接続研究会の趣旨と、研究会で作成を進めてきた標準ルーブリックを、全国の高等学校ならびに大学に提案するとともに、議論を深める。

日時 令和元年 7月 28日 10:00~16:30

会場 京都市立堀川高等学校

内容

<第1部> 探究型学習の指導と評価 ~高校の教員対象	10:00-13:35
1.1 研究会の趣旨説明	10:00-10:15
1.2 研究会のこれまでの取組と、本日の内容の概要説明	10:15-10:35
1.3 ルーブリックの定義と作り方の説明	10:35-10:55
1.4 論文の事例を踏まえたグループワーク(昼食をとりながら)	11:05-12:45
1.5 ワークを踏まえての注意点	12:55-13:05
1.6 ルーブリックを活用した指導の改善についての解説	13:05-13:25
1.7 講評	13:25-13:35
〈休憩 20 分〉	
<第2部> 探究型学力育成のための高大接続 ~大学との対話を含む	14:00-16:30
2.1 高大接続の改革動向についての問題提起	14:00-14:15
2.2 標準ルーブリックとは何か	14:15-14:35
2.3 標準ルーブリックの内容と開発プロセス	14:35-14:55
<10 分休憩>	
2.4 生徒の成長過程と指導のあり方の紹介(実践報告)	15:05-15:35
2.5 大学等参加者からの応答	15:35-16:05
2.6 質疑応答、ディスカッション	16:05-16:25
2.7 まとめ	16:25-16:30

参加対象

全国の高等学校の課題研究・総合的な探究(学習)の時間運営担当者, 全国の大学入試担当者,教育委員会高等学校担当者など

参加人数 約 200 名

申し込み方法

Web サイトから (5 月下旬より)

主催 SSH 連絡会 (石川県立金沢泉丘高等学校・福井県立藤島高等学校・滋賀県立膳所高等学校・京都市立堀川高等学校・ 奈良県立奈良高等学校・大阪府立天王寺高等学校・兵庫県立神戸高等学校・三重県立津高等学校)

SSH 連絡会とは……

SSH 連絡会は、SSH 事業や進路に関する情報交換をする SSH 七校連絡会議として、平成 25 年度に北陸・関西圏の府県から各 1 校の SSH 校が集まり実施されました。当時は SSH 研究指定が始まって 10 年余りが経過しており、校内体制の構築、各校で進められている特色ある取組の内容、そして、事業評価の方法などについて、活発に意見交流が行われました。

探究型学力高大接続研究会とは……

SSH 連絡会の各校の指導事例をもとに、各校で共通する部分で統一的な枠組みを構築し、生徒の課題研究の質の改善や、教員の指導力向上を図るとともに、より良い高大接続のあり方に対して提案を行うことを目的として、平成29年度より研究を進めてきました。